

吉田靜齋 はらひ 蘭學者、漢詩人。文政九年七月十日越前國大野生れ。
明治二十年十一月二十日歿（八六—七）。講俊章、字子明、通稱吉太
郎、内藏太郎、欽次郎、拙藏。江戸で杉田成卿、伊東玄朴はらひに蘭學を學
び、歸藩後蘭學授業師となる。安政六年北邊開拓の藩論を起した内田
はらひ隆佐を總督とし、司令早川武英に從ひ、竣成した大野丸の船長となつ
て樺太の鞆城に至るなど、幕府の北方進出を助勢。廢藩後は塾を取締、
郡吏として地方教育に従事。

『吉田拙藏詩抄』畧傳

（明治二十一年八月石川三吾編刊）がある。